

2025 年度 短期海外研修Ⅱ(中国)の開催報告

経済学部教授 徐陽

2025 年 9 月 15 日から 25 日までの 10 日間、中国広州市・上海財経大学で「短期海外研修Ⅱ」を開催しました。本学の協定校である上海財経大学は、中国教育部直属の国家重点大学で、主に経済、金融、商科に強く、特に会計学では全国トップを誇り、会計学部を独立の学部として設けている中国国内有数の大学である。

研修には経済学部生 9 名（3 年：1 名、2 年：1 名、1 年：7 名）が参加しました。この研修では授業の受講だけでなく、様々な体験をすることができました。

初日は、上海財経大学のキャンパスで学生交流が始まり、Welcome Dinner に参加しました。翌日に上海百度 Apollo Park 企業を訪問し、AI を導入した製品を見学し、自動運転の無人タクシーを乗車して上海市内で走行体験しました。午後に「Chinese Marketing/Case Study1」の授業を受け、マーケティング案例分析について学びました。

3 日目の午前は SUFE Business Museum で、貨幣館・算術館・税票館の歴史と意義について学び、午後に「Chinese Culture/Comparison of Chinese and Japanese Culture1」の授業を受けました。

4 日目には、午前に「Chinese Marketing/Case Study 2」、午後に「Chinese Culture/Comparison of Chinese and Japanese Culture 2」の授業を英語で受講しました。

5 日目は上海博物館に、6 日目は中国の典型的な江南水郷古鎮、「上海第一大鎮」と称される朱家角鎮に見学しました。7 日目の日曜日は上海ディズニーランドで学生交流をしました。

8 日目は、長崎上海事務所と福岡上海支店を訪問し、午後には西鉄国際貨運(上海)や JTB 上海支店を企業研修しました。

9 日目は、午前に「Management Accounting/ Case Study1」を受講し、午後には、上海証券取引所を訪問しました。

10 日目は、午前に「Management Accounting/ Case Study2」を受講し、午後には学生報告会にて英語でプレゼンしました。企業がバナンス、マーケティング、持続可能な開発理念を導入している企業経営などに関する基本から応用まであらゆる分野の知識を学びました。日本とは授業スタイルが異なるため、授業では発言が求められることが多くありました。コミュニケーションのツールとしての英語の重要性、また専門知識の必要性を痛感した体験となりました。

今回の上海短期海外研修では、「初めての国で生活する」という体験を通じて、言語・文化・生活習慣の違いを肌で感じ、多くの学びを得ることができました。特に、大学敷地内には校舎や図書館、5 つの食堂、体育館や競技場に加え、学生寮、教師寮、さらに便利店や喫茶店まで揃っており、その充実ぶりに驚かされました。

研修期間中、上海財経大学の学生たちの手厚いサポートにより、充実した時間を過ごすことができました。中には、日本文化に興味を持つ学生や日本語を学んでいる学生もあり、情

報交換を通じてお互いに親交を深めることができました。

上海財經大学での授業や中国での生活を通じて異文化を肌で感じ、中国経済や企業の成長を実感できたことは非常に有意義でした。今後も、本学部と上海財經大学は、相互に学生の派遣や短期研修を通して連携を強化し、さらに強固なつながりを築いていきます。参加した学生たちは、この経験を今後の学生生活に活かし、成長していくことが期待されます。

今回の研修にあたり、上海財經大学の職員、教員、学生の皆さまをはじめ、多くの方々にご協力いただき、非常に有意義なものとなりました。

研修での学びと気づき【学生の感想】

(1) コミュニケーションの重要性

- 言葉が通じない場面で、身振り手振りや表情を使って伝える大切さを実感。
- 完璧な言語力がなくても「伝えたい気持ち」があれば理解し合えることを学び、コミュニケーションの幅はもっと自由でよいと感じた。

(2) 生活のテンポと効率性

- スマホ決済が主流で現金はほぼ使われず、効率的な生活スタイルに驚いた。
- 国によって生活の優先順位が異なることを体感。

(3) 先進技術の存在

- 無人タクシーの実用化や技術発展を目の当たりにし、未来を感じる体験となった。
- 上海の街には先進技術が自然に溶け込み、都市のエネルギーの大きさを実感。

(4) 街の雰囲気と文化

- 高層ビルと広い緑地が共存し、忙しさと落ち着きが調和する独特の景観。
- 長崎との違いから、他国の文化にも触れたいという意欲が高まった。

(5) 心構えとして学んだこと

- 海外駐在員の話から、予想外の出来事にも「楽しさ」を見つける姿勢が重要だと学んだ。
- 現地学生の高い英語力等を体験し、そして挑戦する姿勢の重要性を学び、今後の学びや将来に大きな刺激を受けた。
- 中国への偏見が誤りであることを実体験し、挑戦する姿勢の重要性を再認識し、今後の英語力向上や目標達成に活かす決意を固めた。

上海研修を通じて、異文化理解の重要性、効率的な生活や先進技術の驚き、そして「楽しむ心」を持つことの大切さを学びました。今後の教育活動や国際交流に活かしていきたいと思います。

10 日間の研修で、キャッシュレス化の進展、自動運転タクシーの実用化、現地学生の高い英語力、そして「まずはやってみる」姿勢の重要性を体験し、技術力や国際性の高さを実感しました。同時に、自分の語学力向上や積極的な行動の必要性を強く感じ、この経験は大学生生活に活かし、国際的な視野を広げる大きな糧となりました。

また、大学へ入るには顔認証が必須で、部外者は立ち入れないという中国ならではのセキュリティ意識にも驚かされました。さらに、海外の学生のレベルの高さや異文化に触れることで、「百聞は一見に如かず」という言葉の意味を実感しました。国の違いに関わらず、互いに理解しようとする姿勢がいかに大切かを身をもって学ぶことができました。



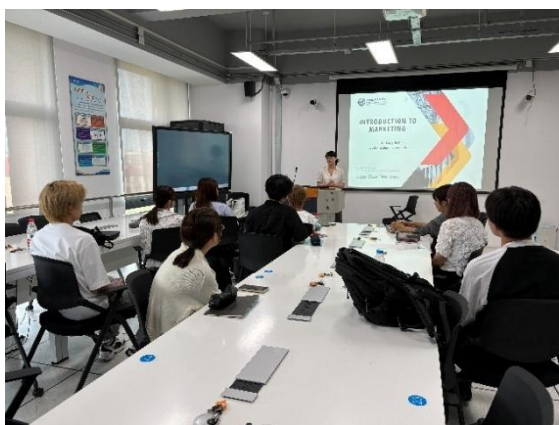
上海财经大学での終了証授与式



上海 BaiDu Apollo Park 企業見学



キャンパス内の博物館



マーケティング授業



学食体験



学生交流



上海博物館

上海财经大学ホームページにも紹介されました。

上海财经大学の HP

<https://open.work.weixin.qq.com/wwopen/mpnews?mixuin=hIQ-DgAABwBUrZrPAAAUAA&mfid=WW0322-n88GOwAABwDvMycaeyL2cgqld7X99&idx=0&sn=9b1d4024e4a080bed14bebf6eb743127>

<https://open.work.weixin.qq.com/wwopen/mpnews?mixuin=hIQ-DgAABwBUrZrPAAAUAA&mfid=WW0328-BbVolAAABwB1SUMlduOR3QXYeWu99&idx=0&sn=89445e21770412af7494925b40a2358b>